

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちあふるスクール宮之阪		
○保護者評価実施期間	2025年1月1日		～ 2025年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ICT機器を使用してプログラミングやプログラミング的思考が学べる個別療育	1人1台パソコンが使えるための環境整備を行い、パソコンが初めてのお子様でも1から挑戦することができます。	お子様に合わせて取組が提案できるよう、既存のものだけではなく新しいプログラムも活動に組み込めるように日々職員で共有しています。
2	お子様に合わせた療育プログラム	1人1人のお子様に合わせた取組内容を指導員がサポートすることで、お子様が達成感を感じることができるようにしています。 また、ICT以外でも手先の巧緻性を養うための知育玩具など、日常生活動作に繋がる取組も用意しております。	お子様自身の得意不得意に寄り添った活動プログラム作りをしています。
3	個別活動プログラムと集団活動プログラムの併用	お子様や保護者様の意向に合わせて、活動を行うなかで指導員が仲立ちして少人数での交流の場を設けています。 少人数から交流を行うことでコミュニケーションが苦手なお子様にも関わる機会をもてるよう、月毎や長期休暇のレクリエーションに取組んでいます。	個別での活動プログラムとなっているため、平日の集団活動では短時間で取り組めるように内容を考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の場が少ない	今後課外活動を行うことが決まっているため、その際に地域での活動や交流の機会を設けます。	地域との交流やお子さんの学びの機会になるように課外活動の内容を提案していきます。
2	活動スペースが狭く感じることもある	レクリエーションなどの全体活動を行う際には、机を移動するなどして活動スペースが十分にとれるようにしています。	机だけではなく、必要に応じて部屋全体の配置変更も行っていきます。
3	学校や幼稚園保育園と連携をとる機会が少ない	保護者様を通しての形で連携をとるようにしています。	普段の生活のなかでの様子などについては、保護者様のお話しからしか聞く機会がないため、円滑な支援ができるよう必要に応じて学校や幼稚園保育園とも連携をとっていきます。